



日本行きを夢見る、次世代を担う日系人の子どもたち。日本語学校の生徒と阿部さん(左から3人目)。

## 遠くて近い国

世界最大の日系社会を持つブラジルでは、今も日本の言語や文化を次世代へ伝えようと奮闘する人たちがいるが、その存在を知る日本人はそう多くないと思う。

私はJICA海外協力隊としてブラジルの日本語学校で日系人の子どもたちに日本語を教えていた。現地に滞在中、日系人から「日本を第二の故郷と思いや文化や言葉をつないできた。世代が進むにつれ日本に対する関心が薄れてきている。もっと日系人として誇りが持てるよう、日本を身近に感じたいし、日本人にも日系人の存在を知ってもらいたい」といった言葉を何度も聞いた。

帰国後、日本の人々に日系社会の様子や考えを知ってもらおうと、日本語学校の生徒による絵の展示や、日系人の暮らしぶりについての講演会を開いた。来場者からは「現地で日本文化が継承されていることをうれしく思うと同時に、自国を見つめ直すいい機会になった」と、関心を寄せる言葉が多く寄せられた。また、「日系社会を見てみたい」と話してくれた大学生は、開催の翌年に渡伯して日系人と交流を深めている。

その後、来場者の声を現地に伝えると、4世の若者は「日本が近くに感じた。早く日本に行ってみたい」と目を輝かせ、ある2世は「これを機にブラジルに関心を持ってもらえたらうれしい」と言ってくれた。

微力ではあるが、今後も両国が近くなるきっかけづくりに取り組みたい。

今月の投稿(文と写真)阿部善江さん

南米からの日系人研修生たちとの出会いをきっかけに日系社会に興味を持ち、JICA海外協力隊に参加。2018年6月までブラジルのモシダスクレーゼ市で日系日本語学校の教師として活動した。

### SDGsとは



持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は「誰一人取り残さない」をスローガンに、格差や貧困、環境破壊など世界が直面している問題の根本的な解決を目指す17分野の国際目標。

### あなたの投稿をお待ちしています!

「わたくしが見つけたSDGs」に写真と文章をお寄せください。貧困や気候変動、格差ほか、いま世界が直面している課題やその解決に向けた取り組みのエピソードなど、SDGsの17の目標を身近に感じられる作品をお寄せください。

応募要項:写真1点(ご自身が撮影されたもの)、文字原稿400字以内。

\*写真内の被写体に関する肖像権およびその他の権利は、投稿者の責任において被写体や権利保持者の承諾を得るなど必要な措置をとったうえでご応募ください。

ご応募・お問い合わせ先▶ML\_JICAPR@jica.go.jp(「mundi」編集部宛て)

持続可能な開発目標(SDGs)と  
JICAの取り組み

